

調査

市民の安心、安全な生活環境を守るため、市内の大気や水の環境を調査しています

大気の調査

●大気の常時監視

市内18ヶ所の測定局で、24時間365日大気中の汚染物質濃度を測定しています。測定データは、インターネットやテレビ神奈川のデータ放送で情報を発信しています。



測定局舎



測定局内にある大気を測定する機器



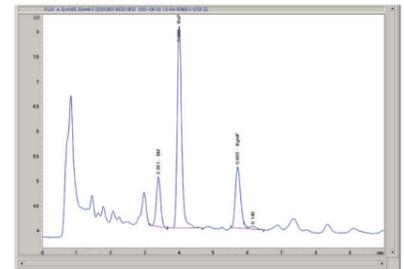
テレビ神奈川のデータ放送

●有害大気汚染物質のモニタリング調査

ベンゼンやトルエンなど有害大気汚染物質の環境濃度を定期的に測定し、大気の状態を把握しています。



大気中の粉じんを採取



粉じんの成分を分析



測定器で環境放射能を測定

●環境放射能調査

川崎市地域防災計画に基づき、環境中の放射能調査等を行っています。

●アスベスト調査

環境中のアスベスト濃度の調査を行っています。



大気中のアスベストを採取



電子顕微鏡でアスベストを測定

事故等の対応

悪臭がしたり、川や海などの水に異常などが確認された時は、原因究明のため調査をします。



事故現場での採水

水の調査

●川や海などの調査

川や海の水質が環境基準に合っているか確認するため、水質調査を行っています。また、海底の泥や魚の体内に含まれる化学物質の調査も行っています。



親水施設での水質調査



海底の泥を採取



海で採取したスズキ

●生物調査

生物の生息環境を確認するため、川や海の水質、泥の性質、生物の種類や数などを調査しています。



川での生物採取



採取した生物の観察

水質と生物の関係

川や海にすんでいる生物(特に小さな昆虫など)は、水のきれいさと密接に関係しています。そこで水質とあわせて生物の種類や数を調べて、その変化を調査しています。

●工場や事業場の排水の検査

工場や事業場の排水が適切に処理され、川や海に流す基準が守られていることを確認する検査を定期的に行っています。



事業場での採水



不純物を取り除く処理



亜鉛やクロムなどの重金属の測定